

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年8月27日

【2018年8月18日～2018年8月24日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。大統領選挙をめぐる不透明感が高まる中、ブラジル・レアルは対米ドルで節目の1米ドル＝4レアルを突破し、2016年以來の安値水準となっています。

経済指標では、雇用統計などが発表されました。雇用創出合計は前回の数値から大きく改善し、市場予想も上回る結果となりました。また、インフレ率(IPCA-15)は市場予想をやや上振れたものの、前回と比べるとインフレの沈静化が確認できる結果となりました。

大統領選挙に関しては、最新の世論調査が複数発表されました。いずれの調査でも収監中のルラ氏が優勢、極右のボウソナロ氏がそれに次ぐ支持率を得る一方で、市場が好感するアルキミン氏の支持率は依然として伸び悩んでおり、ブラジル・レアルの下落要因となっています。

【2】今週の見通し

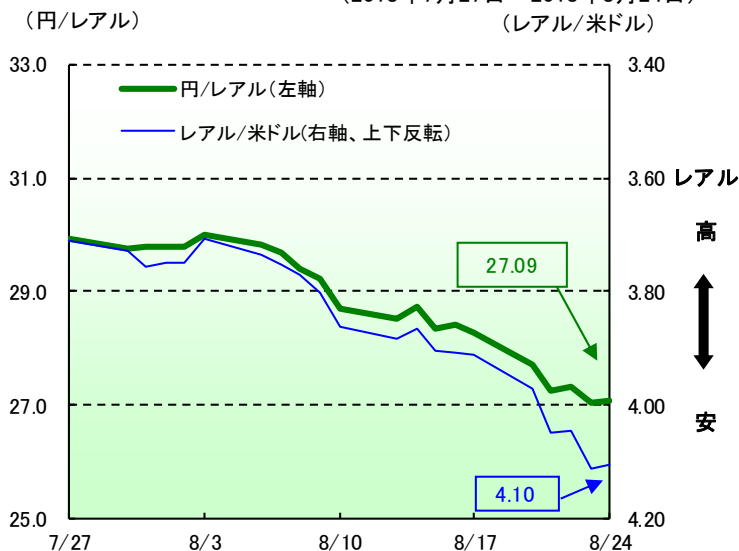
今週は、4-6月期のGDP(国内総生産)や7月の全国失業率などが発表される予定です。GDPは前年比+1%程度の成長が予想されています。

大統領選挙に関しては、31日からテレビやラジオでの政見放送が始まります。過去の選挙では政見放送が支持率に大きな影響を与えてきたとみられており、放送の割り当て時間が長いアルキミン氏がここから巻き返せるかが注目されます。

また、ブラジル中央銀行の為替介入姿勢にも注目が集まります。足元でブラジル・レアルが大きく下落する中でも、中央銀行は今のところ静観を続けています。ブラジル・レアルの下落が続いた際に、ブラジル中央銀行が通貨防衛の姿勢を示せるかどうか注目です。

【ブラジル・レアル 為替推移】

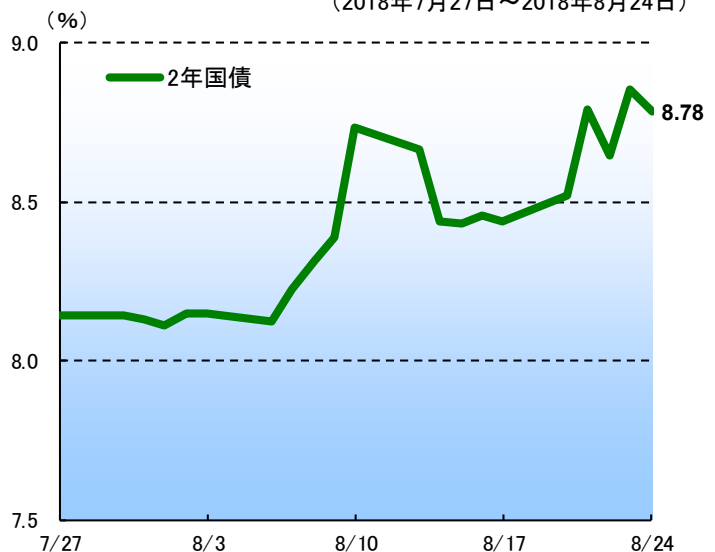
(2018年7月27日～2018年8月24日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年7月27日～2018年8月24日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>